

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年12月27日(2007.12.27)

【公表番号】特表2007-512397(P2007-512397A)

【公表日】平成19年5月17日(2007.5.17)

【年通号数】公開・登録公報2007-018

【出願番号】特願2006-540019(P2006-540019)

【国際特許分類】

C 09 B	67/20	(2006.01)
C 09 B	67/52	(2006.01)
C 09 B	48/00	(2006.01)
C 09 D	11/00	(2006.01)
C 09 D	201/00	(2006.01)
C 09 D	7/12	(2006.01)

【F I】

C 09 B	67/20	C
C 09 B	67/20	H
C 09 B	67/52	B
C 09 B	67/52	C
C 09 B	48/00	B
C 09 B	67/20	L
C 09 D	11/00	
C 09 D	201/00	
C 09 D	7/12	

【手続補正書】

【提出日】平成19年11月6日(2007.11.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

顔料の光学的特性を改善する有機顔料の粒度絞りの方法であって、

(a)

i) 1種以上の粗製有機顔料10~60重量%、

ii) 水溶性スチレンコポリマー分散剤、粗製有機顔料の乾燥重量に対して0.1~25重量%、

iii) 場合により消泡剤0.1~1.0重量%、

iv) 場合により添加剤、粗製有機顔料の乾燥重量に対して0.1~5.0重量%、および

v) 水10重量%を超える量

を含む混合物をミリングし(成分i)、iii)およびv)の重量パーセントは、混合物の全重量に対する値である)、

(b) 有機顔料を分離する、方法。

【請求項2】

請求項1記載の方法によって調製された顔料組成物。

【請求項3】

粗製 - または - キナクリドン顔料結晶を、 または 結晶相を維持しながらの粒度絞り方法であって、

2, 9 - ジクロロキナクリドンを含むミリング組成物を、 粗製 - または - キナクリドンと混ぜ合わせ、

2, 9 - ジクロロキナクリドンの重量 % が、 粗製 または 顔料の乾燥重量に対して 0.1 ~ 5.0 重量 % であり、

- または - キナクリドンが所望の顔料粒度に達するまでミリングする、 方法。

#### 【請求項 4】

- または - キナクリドン顔料結晶を、 結晶相または 結晶相を維持しながらこれらの顔料の光学的特性を改善する粒度絞り方法であって、

(a)

i) - または - キナクリドンと共に、 - または - 顔料の乾燥重量に対して 0.1 ~ 5.0 重量 % である 2, 9 - ジクロロキナクリドンを含む組成物 10 ~ 60 重量 %、

i i) 水溶性スチレンコポリマー分散剤、 - または - キナクリドンと共に 2, 9 - ジクロロキナクリドンを含む組成物の乾燥重量に対して 0.1 ~ 25 重量 %、

i i i) 場合により消泡剤 0.1 ~ 1.0 重量 %、

i v) 場合により添加剤、 - または - キナクリドンと共に 2, 9 - ジクロロキナクリドンを含む組成物の乾燥重量に対して 0.1 ~ 5.0 重量 %、 および

v) 水 10 重量 % を超える量

を含む混合物をミリングし(成分 i)、 i i i) および v) の重量パーセントが、 混合物の全重量に対する値である)、

(b) - または - キナクリドン顔料結晶を分離する、 方法。

#### 【請求項 5】

請求項 3 記載の方法により粒度絞りされた - または - キナクリドンを組み込まれた高分子量有機材料。

#### 【請求項 6】

請求項 3 記載の方法により得られた粒度絞りされた - または - キナクリドンの有効顔料量を組み込むことを含む、 高分子量有機材料を着色する方法。

#### 【請求項 7】

粒度絞り方法の間に - および / または - キナクリドンの および / または 結晶相を保持する結晶相抑制剤としての 2, 9 - ジクロロキナクリドンの使用。